

1) システムの名称：

SYNAPSE CardioVascular （シナプス カルディオヴァスキュラー）<FUJIFILM 循環器画像システム>

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

5. 画像検査系 （部門情報システム、PACS、レポート系、モダリティ他）

3) 特色：

SYNAPSE CardioVascular は、富士フイルムグループである ProSolv 社が米国製品名”ProSolv CardioVascular”として販売中の循環器専用動画・レポートシステムを富士フイルムが日本市場向けに開発し、2009 年 4 月 15 日に国内市場に対して導入を開始したシステムである。 SYNAPSE CardioVascular は心臓血管造影装置、超音波画像診断装置、核医学、心電図等の心疾患の診断に必要な装置で発生する画像情報の表示・解析、診断レポートの作成を一台のワークステーションでおこない、画像、診断レポートの電子カルテ端末等院内端末への画像配信をおこなう。 また、施設資産である重要な患者画像を安全に保管するため全画像をオンライン保管し、かつ、バックアップ機構を搭載、高い冗長性を確保している非常に信頼性の高いシステムである。

SYNAPSE CardioVascular と国内 No.1 の導入実績を誇る SYNAPSE とのシームレスな連携により院内で発生する画像の全てを診療科・動画・静止画の区別無く一元管理を実現し、強力な IT インフラの提供が可能になる。

■ SYNAPSE CardioVascular 製品特長

① 循環器医師の監修による“医師のための臨床に即した”システム

システムの開発において循環器医師の監修のもと開発された本システムはストレスエコーのシャッフル表示、過去画像あるいは異なる装置で撮影された画像との比較表示、各社超音波画像診断装置から送られる計測値の取得、ACC, ASE 等のガイドラインに基づく構造化レポートの提供等医師のために開発された臨床に即したシステムである。

② 強力な心臓エコー検査対応機能

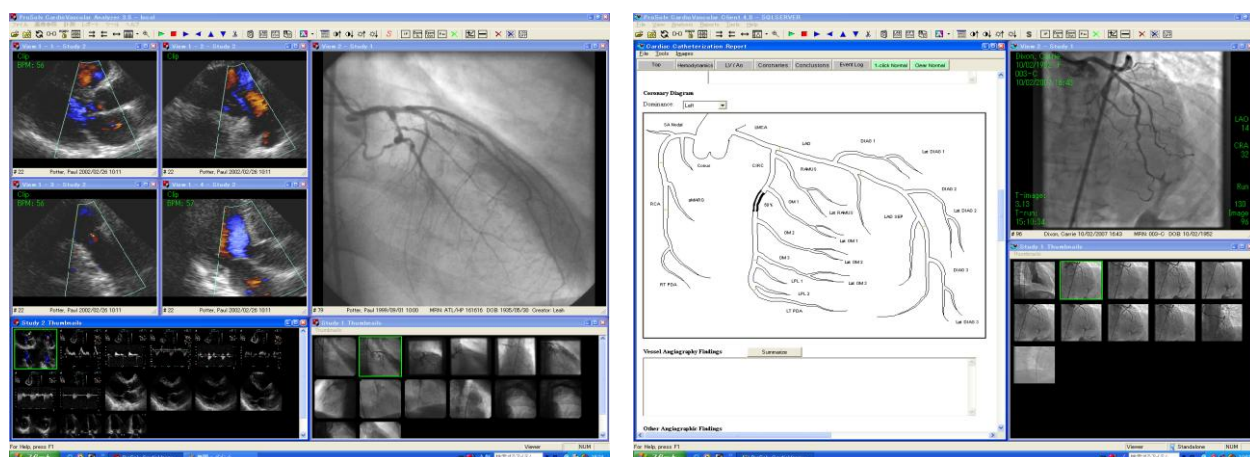
本システムは各社異なる装置から送られる計測値の自動取得および計測値のレポートへの自動転記が可能なシステムである。 計測値の取得においては標準フォーマットである DICOM Structured Report のほか、多くの接続実績に基づき各社固有のフォーマットにも対応可能である。 これらの強力な心臓エコー検査に対応した機能は診断レポート作成の省力化、人為的ミスの軽減等の効果をユーザーに提供することが可能である。

③ 豊富な心機能解析ソフトウェア

心機能解析機能としては心臓血管造影装置で撮影された画像の左心室定量解析・定量的冠動脈解析は Pie Medical Imaging 社製 CAAS を搭載し、核医学専用解析ソフトウェアは 4R-MSPECT(Corridor 社製)と搭載。 心臓エコー計測機能と併せて装置上でおこなう解析・計測のすべてをワークステーション上でおこなうことが可能。

④ 院内 IT インフラの提供

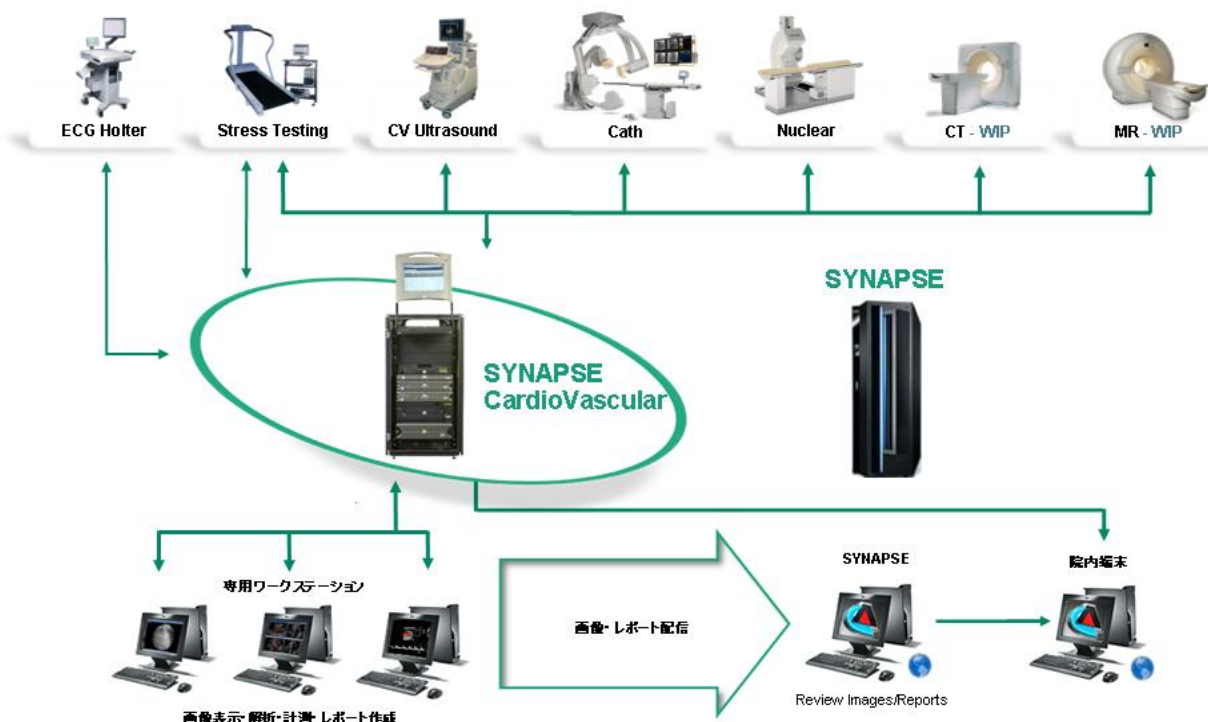
専用ワークステーションで解析された画像および作成された診断レポートは Web 参照機能により電子カルテ等の院内端末でのそれら患者情報をカンファレンス、ムンテラ等の業務ため何時でも、どこでも参照することが可能である。 また富士フイルム医用画像システム SYNAPSE との連携により院内で発生する画像全てを一元管理し、ユーザーは同一のリスト上から必要な画像を動画、静止画、装置の区別無く参照することが可能である。



4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

■SYNAPSE CardioVascular 概要図

- ①循環器関連画像は SYNAPSE CardioVascular で保管
- ②放射線科システム SYNAPSE と連携し、院内で発生する全ての画像を一元管理
- ③電子カルテ等全ての院内端末での循環器・放射線科画像・レポートの参照



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

DICOM Ver3.0 Storage SCP/SCU (無償)、QR (無償)、MWM (有償)

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

- ①サーバスペック
OS：Microsoft Windows Server2003 StandardEdition 日本語版
- ②クライアントスペック
OS：Microsoft Windows XP ProfessionalSP2 日本語版

7) 稼動までに必要な作業・期間：

2～6 ヶ月 (システム規模や施設状況による)

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

7～9 桁 (システム規模により算出)

9) 保守の内容と費用：

スペシャリストによる保守&サポートが、古くならないシステムと長期運用、止まらないシステムを支えます。さらにまた、画像の見読性を確保するため、画像を表示するモニタの品質管理などフィルムで培ったノウハウを活かしたイメージソリューションサービスもご提供しています。導入初年度は無償、次年度以降は有償保守契約にて対応しています。
費用：6～8 桁 (システム規模とご要望内容により算出)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

富士フィルムメディカル株式会社 <http://fms.fujifilm.co.jp/>
ITソリューション事業本部 事業推進部
〒106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30 富士フィルム西麻布ビル
TEL. 03-6419-8040 FAX. 03-5469-3468